



〔問①〕2022年の観光客は21年より何%増え、何人でしたか？

〔問②〕2022年の外国人観光客の人数は？トップは韓国からの客でしたが、2番目は？

〔問③〕別府市観光課は「どのような付加価値をつけるかが鍵になる」と述べていますが、有効な付加価値を考えてみよう。

別府の観光客数 前年比44.5%増

22年動態、市がまとめ

【別府】別府市は2022年の観光動態をまとめた。観光客数は537万9303人で、21年(372万2365人)から44.5%の大幅増となった。市は全国旅行支援や水際対策の緩和を要因と分析。新型コロナウイルス禍前の水準(19年・約833万人)にはまだ遠いが、回復傾向にある。

総観光客数のうち、日帰り客は344万448人(21年比35.5%増)、宿泊客は193万8855人(同64%増)。宿泊客の増加は5年ぶり。内訳は、ホテルの建設が相次いだ北浜・中央地域に88万5583人と全体の45.7%が宿泊した。堀田

537万人、宿泊客伸びる

・観海寺地域には58万9773人、鉄輪・明礬地域は33万9942人。発地別では福岡県が最も多く、30%を占めた。外国人観光客は4万266人だった。トップは韓国からの2万1168人で、全体の半数を占めた。市観光課によると、日韓関係が悪化した19年秋ごろから韓国からの観光客が激減していた。両国の関係改善などにより、訪日客数が回復しているとみられる。次いで多いのはタイの6128人、香港の3025人。シンガポールやインドネシアなど東南アジア地域の伸びが目立った。同課は「どのような付加価値をつけるかが鍵になる。民間と協力して別府観光発展の魅力を発信していきたい」と述べた。

(内田杏実)



地獄めぐりを楽しむ外国人観光客ら
11月2022年11月、別府市の海地獄